ピカイチおいしい野さいたち

北小学校3年　卓　千博

ぼくのお父さんは野さいを育てたくて庭に畑を作りました。ぼくも野さい作りを手つだって、たいへんな事やうれしい事がたくさんあったので作文を書くことにしました。

はじまりから野さいを育てるたべの畑作りが一番たいへんでした。石を拾い、土をくわでたがやし、石と土をふるいで分けます。ぼくもはじめてこしがいたくなりました。でもお父さんはぼくより子どもみたいにワクワク楽しそうでした。

お父さんとお母さんがミニトマト、ナス、きゅうり、ピーマンのなえをじばさんずで買ってきました。いよいよ野さい作りスタートです。それなのに、なえを植えた次の日が雨だったので心配で何度も庭の畑に行き様子をみました。でも野さいたちは雨や風にも負けずにどんどん大きくなり、ミニトマトときゅうりはぼくのせより高くなりました。ちょっ

20 × 20

とくやしい気もちと大きくなってうれしい気もちがまざり、ふくざつな気分でした。お姉ちゃんはふしぎな人で野さいたちに「きゅーちゃん」や「ピーさん」と名前をつけてうれしそうに話しかけながら水やりをしていました。とれたてのミニトマトはあまくて太陽みたいな味がします。とれたてのきゅうりはトゲトゲで水分たっぷり、今まで食べたきゅうりの中でピカイチです。きゅうりは少しゆだんすると、びっくりするくらいとても大きくなります。ぼくは「おばけきゅうり」とよび、よくニンニクといためて食べました。ぼくは野さいがすきな方だけど、自分で野さいを作って食べてもっと野さいがすきになりました。

今年の夏休みはコロナでどこにも行けなかったけど、家ぞくで野さいを育てて食べて少しいやされました。そして次は何の野さいを育てようか楽しみで、家ぞくかいぎをしています。

20 × 20